



平成29年4月23日

大手前中学校・高等学校同窓会
カエルの会(植物・昆虫愛好会)

開催報告

第1回 植物・昆虫観察会：高尾山麓

記

◎日時：平成29年4月23日(日)10:00～18:30

◎場所：東京都高尾山麓(多摩森林科学園と高尾梅郷遊歩道)

◎参加者：吉井(1回生)、原田、横山(昌)(4回生)、埋忠、臼杵(5回生)、中條、大北(21回生)
(全7名、敬称略)。

快晴、絶好のハイキング日和。カタクリの花は、1週間前にその時期を過ぎてしまったことからカタクリ群生地見学はパス。今回のフォーカスは、ウスバシロチョウ(成虫)、多摩森林科学園でのアサギマダラの幼虫探し、と山野草は「カタクリの花」以外となった。

① 多摩森林科学園：



展示館で、山野草や蝶についての基礎知識をおさらい(ビデオ)してから散策開始。遅咲きのサクラが未だに咲きほこり(写真左は、香川県の里桜「ことひら」：原田さん撮影)、足元では、スマレ、フデリンドウ、ムラサキケマン、ヤマルリソウ等とともに、ユニークな形のテンナンショウの花がその存在を自己主張していた。チョウは、快晴な

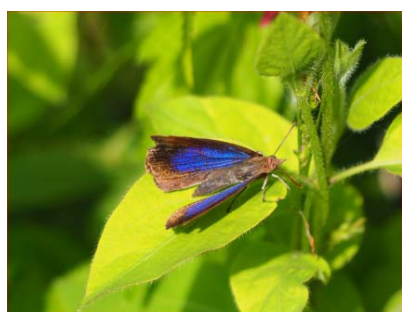
のに飛翔が少ない(スジグロシロチョウやキチョウ数匹のみかけた程度)。「キジョラン」スポットでは、アサギマダラの幼虫探し。見つかるかどうか半信半疑だったが、暫くして、「いたー」の大声に、回りの人達も巻き込んでの幼虫の写真撮影となった(写真右上)。その後、少し大きい個体も見つかった(写真右下、後方は、脱皮ぬけがら)。しかし、肝心のウスバシロチョウはというと、全くみつからず、公園係員に聞いても今年は未だ見かけていないと言う。半ば諦めかけて公園正門に戻ったところ、展示館前でやっと、優雅に舞うウスバシロチョウにお目にかかることができた。このチョウは、暫くの間、上に下にひらひらと、我々の回りを



飛び回っていたが、止まらずに、写真撮影は叶わなかった。残念。

② 高尾梅林遊歩道:

多摩森林科学園でウスバシロチョウの飛翔が確認できたところで、例年、数多くウスバシロチョウが報告されている小下沢梅林に移動。しかし、こちらもスジグロシロチョウやキチョウが少し飛んでいるだけで、ウスバシロチョウの姿はない。食草のムラサキケマンが咲いていたので、幼虫探しの真似事をしたが、発見はできず、後は、帰途途中に期待をかけて、日影沢の橋近くの農家まで戻って、庭先の山野草(カタクリ、クマガイソ



ウ、ショウジョウバカマ、ヒトリシズカ等)を眺めていたら、突然、ウスバシロチョウ1個体が、ひらりと飛んできて、茂みの中に逃げ込んだ。なかなか、茂みから出て来ず、撮影に苦労したが、時間をかけて何とか撮れたのが右上の写真である。その後、バス道や林間遊歩道を、イチリンソウやニリンソウ、ヤマブキ、ムラサキケマンの花をみたり、ムラサキシジミの写真(左)を撮ったりしながら、15:30、JR高尾駅に帰りついた。南口の酒場でささやかな反省会を開いて、18:30解散した。カタクリの花は見られなかったものの、ウスバシロチョウを見ることができ、また、アサギマダラの幼虫観察もできたのだから、まずは「成功」と言える観察会になったのではないだろうか。(文責:臼杵)。



(左から、臼杵、横山(昌)、原田、中條、吉井、大北、埋忠) <敬称略>